

スポーツ委員会 議事録

日時：2012.4.14 Sat. 13:00-18:30

場所：荻窪エアロノーツ事務所

参加者：竹澤、中口、飯盛、倉重、野上 途中から、須江夫妻、市吉（敬称略）

議事内容

1. 公認、非公認の取り扱い

公認・非公認大会のHP上での取り扱いについて話し合った。また、公認される事によるメリット・デメリットについても議論。スポーツ委員会としては公認大会を増やす方向で進めたいので、現在、非公認や後援の大会運営の方にも公認していただけるように働きかけたい。

また、セーファーティーオフイヤーなど、役員連盟としての派遣についても、議論を行った。

2. 公認の申請書のフォーマット変更

公認申請書の追加項目や追加記載事項について議論した。基本は、申請者の負担にならないように変更。そこに、希望借用機材の詳細の記載欄や送付先、パイロットの有効期限と保険の有効期限の記載を主催側で確認する項目を追加する。

3. NRSについて

今年のNRS計算担当を野上氏と決めた。複数年計算や海外の大会やカテゴリー1の大会の考え方についてシミュレートすることにした。

4. 世界・日本記録について

記録への取り組みについて倉重氏より説明をうけ、倉重氏の作成したフローチャートを機関誌およびHPに公開する。他にも、ノーダブルフライト（特記すべきフライト。海峡越えや初めてのエリアでのフライトなど）の項目を作る。ロングジャンプや最小マーカー距離などを集計して公表する案について議論をした。

5. 海外大会への役員参加の補助について

世界選手権に参加するオブザーバーへは引き続き、支援を行いたい。

6. バッチシステムについて

現在バッチシステムを申請しているパイロットがいない。バッチシステムの周知を積極的に行うか、廃止するかを議論を行った。また、安全委員会からのバッチシステムを活用して欲しいとの要望については、今後の課題とする。

7. オブザーバーの規定について

スポーツ規定のオブザーバーについて、変更内容を確認した。登録証の再交付について、再交付料を1000円とする。

8. ルーキー オブザイヤーと日本選手権の足切りについて

今年の佐久のルーキー オブザイヤー（該当者無し）。日本選手権の足切りについて議論した。

9. パイバル計測器について

電磁コンパスが電磁波に弱い。携帯電話を近づけないなど、正しい取り扱いについて周知と説明書の充実が必要。

10. スポーツメダルについて

オブザーバー講習会を多数回主催している、スポーツメダルに須江さんを推薦したいとの提案があった。

11. スポーツ委員会HPのレイアウト

気球連盟のHP内のスポーツ委員会のページについて。

オブザーバー講習会の内容など、もっと更新すべき内容と告知していきたい。ノーダブルフライトのページを作る。競技規定やオブザーバーハンドブックなどの資料のページを作る。

12. 次回のスポーツ委員会

次回のスポーツ委員会は9月22日で予定